学校法人小寺学園
令和7年度 学びシュラン® (事業計画企画書)

報告書作成日 2025年4月1日

基礎情報内容	実施園情報
法人名	学校法人小寺学園
理事長名	秦賢志
園名	幼保連携型認定こども園 はまようちえん
園長名	小寺由起
担当者名	役職名: 教頭 氏名: 樋口詩菜
住所	〒661-0967 兵庫県尼崎市浜2-2-13
電話番号	06-6499-4919
FAX 番号	06-6499-4931
メールアドレス	infoa@hama.ed.jp
園児数	191人
学級数と人数	7学級 161人 ナーサリー 30人
教職員数	54人

学園理念	わたしになる。ぼくになる。 つよく。かしく。うつくしく。おもしろく。市民として。
本園の教育目標	たくましく生活できる子ども・みんなと仲良く遊べる子ども・心豊かな創造性を育てる
今年度重点目標	①ようちえんかぞく新保育システム
	②あそび環境の再考
	③研修計画のアップデート
	④キンダーカウンセラー制度を生かした特別支援教育の充実

今年度の重点目標	① ようちえんかぞく新保育システム
テーマ	子どもの育ちとスタッフの Well-being の両立を第一に考えた「新制度」改革

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標
子どもの育ちを第一に考え、幼稚園文化と異なる新たな認定こども園文化の再構築。
企画意図 CONCEPT コンセプト
<p>【背景】</p> <p>①保護者のライフスタイルと価値観の変化に伴う子どもの園生活への影響（保育長時間化）対策 実態：1号認定児激減。預かり保育利用者増（14時降園児激減）。 対策：令和7年度より2号認定児の入園受け入れの枠を拡充。 課題：長時間保育に対応した子どもの生活に即した保育時間の見直し。幼稚園文化（教育課程時間＋預かり保育）からの脱却。</p> <p>②職業としての保育者の魅力化への対策 実態：労働環境や待遇面での課題による保育者不足の慢性化。はまよう内での部門間における働き方（残業や休暇）の差異による不公平感。 対策：公平で無理のない働き方によるスタッフの心身の健康を保障できるスタイルの実現。 課題：質の高い保育者の確保・育成。</p> <p>以上2つの課題から、 持続可能な園経営と保育の質向上のためには、保護者の保育ニーズへの対応と保育者のウェルビーイングの両立をはかることが、子どものよりよい成長につながると考え、新たなシステムの構築を図る。</p> <p>【コンセプト】 子どもも保育者も、Well-being に生きる。次の10年へ。</p>
実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか
<p>教育・保育時間の再構築 【プロジェクトリーダー】 樋口詩菜、長谷川、二木、岡 【いつ】 学期に1回程度 【内容】 新しい保育スタイルについてふりかえり、持続可能なスタイルへと見直す。</p> <p>ようちえんかぞく ON・OFF スマートサイクルプロジェクト 【プロジェクトリーダー】 二木、山本薫、山里、堀江、栗山、宮前 【いつ】 学期に1回程度 【内容】 今年度よりシフト制となったようちえん部門の保育者の働き方についてふりかえり、持続可能なシステムへと見直す。</p> <p>部門間連携ミーティング 【プロジェクトリーダー】 樋口詩菜、大野、山本裕子、二木、樋口知華 【いつ】 学期に1回程度 【内容】 保育時間や働き方が新たに変わっているようちえん部門だけでなく、全部門で新システムの課題を共有し、アップデートにつながる話し合いを行う。</p>

今年度の重点目標	② あそび環境の再考
テーマ	はまよう流「あそび」の分析とふりかえり

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標
あそびを分析しふりかえりを共有するなかで、子ども理解を深め、はまようとしてのあそびの考え方を深める。
企画意図 CONCEPT コンセプト
<p>【背景】 昨年度より、スペシャリスト（10年目以上のノンリーダー）2名を「あそびDirector」として任命。二人を中心として、これまでのあそび環境を見直すことに着手。他園の見学や園に講師を招くなど自主研修を実施し、積極的にあそび環境をアップデート。中庭の大砂場を改築し、おままごとエリアを新設。預かり保育室を造形活動に特化した環境に再構成し、『はまラボ』と名付けた。また、新データベース『あそびシュラン™』を構築。遊びについての記録を分析し、子ども理解につなげるシステムを確立させた。</p> <p>今年度は、アップデートした環境や新データベースを活用し、あそびを分析しふりかえりを共有するなかで、子ども理解を深め、はまよう流のあそびの考え方を深めたい。</p> <p>【コンセプト】 「あそび」をとことん考える。</p>
実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか
<p><新規> 『あそびシュラン™』でのあそび記録と分析 【プロジェクトリーダー】 樋口詩菜、荒嘉、中山 【いつ】 随時 【内容】 「いつ、だれが、どこで、どんなあそびをしていたか」を記録し、分析することで子ども理解を深める。</p> <p>あそびミーティング 【プロジェクトリーダー】 中山、荒嘉 【いつ】 月1回 【内容】 全部門のスタッフであそびのふりかえりを共有し、環境の再構成をする。</p> <p>自園主催 第2回 異年齢保育研究公開保育 【プロジェクトリーダー】 樋口詩菜、荒嘉、中山 【いつ】 12/5(金) 【内容】 あそびをテーマに公開保育を実施。他園の先生方の視点を交えてあそびについての対話を行う。</p>

今年度の重点目標	③ 研修計画のアップデート
テーマ	一人ひとりが自らの学びをデザインする

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標
各自が計画的に研修を履修し、主体的に学びをデザインしスキルアップにつなげる。
企画意図 CONCEPT コンセプト
<p>【背景】 昨年度、園内外の研修機会は一昨年度(75回)より1.5倍増の115回で延べ429名が参加。オンライン研修は65回で全体の57%であり、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構主催『ゆたかなまナビ』やフレーベル館のオンデマンド研修を積極的に受講。オンデマンド研修は、時間や場所を選ばず、園や自宅で保育や業務の合間に受講することができ、大幅に研修回数が増加することにつながった。また、新たに本法人の理事に就任いただいた安本先生から『ゆたかなまナビ』の研修履歴から自分の研修履歴を分析できるExcelデータをいただいたことをきっかけに、『ゆたかなまナビ』に限らず園内外の研修も含めて研修履歴を分析できるシステムを構築することを計画している。</p> <p>【コンセプト】 「学び続ける人」として、自分磨きをたのしもう！</p>
実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか
<p><新規> 研修データベースのアップデート 【プロジェクトリーダー】 樋口詩菜、林田、樋口知華 【いつ】 研修データベースの項目をアップデート。年2回研修履歴の分析データを各自に共有し、今後の研修受講に活かす。 【内容】・研修履歴を分析するシステムを構築する。 ・各自が自分の研修履歴をふりかえり、計画的に研修を受講する。</p> <p>研修計画の見直し 【プロジェクトリーダー】 樋口詩菜、林田 【内容】 2014年に策定した研修計画を見直し、メンバーと共有することであらためて自園の研修の考え方やシステムをチームで再確認する。</p>

今年度の重点目標	④キンダーカウンセラー制度（私立幼稚園子育て支援カウンセラー事業）を生かした特別支援教育の充実
テーマ	一人ひとりに合わせた個別の支援（関わり）について考えを深める

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標

現場の保育者が悩んでいる子どもへの関わりについて臨床心理士から具体的なアドバイスをいただき、解決への糸口を見出す。

企画意図 CONCEPT コンセプト

【背景】
園の保育者だけで話し合っても子どもの理解が難しいケースや、特別なサポートが必要な子どもについて、専門的な（臨床心理士目線での）アドバイスから、その子に合った関わりや、保護者支援を深める。

【コンセプト】
臨床心理士の視点から、一人ひとりの子ども理解を深め、個に応じた支援（関わり）について考えを深める。

実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか

対象園児の観察とカンファレンス

【誰が】 臨床心理士、小寺由起、樋口詩菜、対象児の担任

【いつ】 月1回程度（年10回） 9:00-14:00（※前日に臨床心理士と樋口詩菜で打ち合わせを実施）

【どのように】 臨床心理士による、保育観察と面談を通して、園児への関わりについて具体的なアドバイスをいただく。

園内研修

【誰が】 臨床心理士、小寺由起、樋口詩菜、参加希望スタッフ（各回10名程度）

【いつ】 年2回（夏・冬休みを利用） 9:00-11:30/12:30-17:00（※前日に臨床心理士と樋口詩菜で打ち合わせを実施）

【どのように】 臨床心理士の視点から、発達障害についてのレクチャーやワークショップ型の研修を企画。研修後は、臨床心理士との親睦と研修のふりかえりを目的とした意見交換会を行う。